

(様式2)

令和6年度学校応援団 特色ある実践事例

学 校 名	実 施 月 日	ボランティア参加延べ人数
柳井市立小田小学校	令和6年11月25日	12名
<p>1 活動名 地域と連携した地震・津波対応避難訓練</p> <p>2 活動内容 本校では、令和2年度より地域（伊保庄地区）の指定緊急避難場所である柳井商工高校までの避難を実施している。11月25日に実施した避難訓練では、大津波警報発令を想定し、地域の方々による誘導補助で全校児童の避難を行った。また、避難場所では、専門的な知識を有するスクールガードの方から安全面についての指導をいただいた。</p> <p>(1) 内容 安芸灘を震源とする震度7の地震が発生した想定で、校舎内でのシェイクアウト訓練後、本校（海拔2.8m）から伊保庄地区の指定緊急避難場所である柳井商工高校（海拔21m以上）まで避難する。地域の方にも事前に周知し、希望者が参加する。</p> <p>(2) 当日の流れ</p> <p>①緊急地震速報を受信</p> <ul style="list-style-type: none">・シェイクアウト訓練（発災直後の安全行動）・揺れの収束後、集合場所（正面玄関前駐車場）への避難 <p>②大津波警報を認知</p> <p>③指定緊急避難場所への避難開始</p> <ul style="list-style-type: none">・教職員は避難経路の崖崩れ等を想定しながら、児童を誘導する。・地域の方（さぎ波会、スクールガード）が横断歩道や分かれ道等で安全確認・誘導を行う。 <p>④避難完了</p> <ul style="list-style-type: none">・市役所危機管理課の方の話 <p>⑤帰校開始</p> <p>(3) 成果 今回の訓練により、指定緊急避難場所までの避難経路について、距離（2km）や所要時間（30分）、交通量、危険箇所等を確認することができた。地域の方々と一緒に防災学習会を行い、実際に避難をすることで、児童の防災に対する意識を高めることができた。</p> <p>3 子どもたちの声</p> <ul style="list-style-type: none">・避難訓練は大切なことだと感じました。小田小は海に近く、地震が起きたら津波が来る可能性が大きいので、真剣に低学年をひっぱって行きたいと思いました。・実際に起きたときに、本当にあわてずに避難できるかなと思いながら歩きました。・海に近いから早く行かないと津波が来たときにすぐのみ込まれると思った。 <p>4 ボランティアの方の声（感想など）</p> <ul style="list-style-type: none">・地域と合同で防災教室・避難訓練をすることができてよかった。今後も継続することが、危機管理意識を高めるために大切である。・次年度は伊保庄地区社会福祉協議会、柳井市危機管理課とも連携して、合同で防災訓練を行うとよいのではないかと。		



【地域の方による誘導】



【地域の方による指導】